



平成28年12月5日発行

第 102 号

事務局 〒169-0051 東京都新宿区
西早稲田2-18-23スカイエスタ507
TEL/FAX 03-6457-3921
E-mail n.s.e.g@d7.dion.ne.jp

<http://www.seishineisei.gr.jp/>

大会迫る！初の学会合同大会！

第 32 回日本精神衛生学会大会 副会長
上別府圭子(東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻家族看護学分野)

秋も深まり、京都永観堂の燃えるような紅葉ライトアップの便りが届き、また東京大学の銀杏並木も金色に輝いています。一見、平和な景色にも見えますが、不安要素の多い今日この頃です。11月8日には大国アメリカで、政治経験のない候補者が次期大統領に決定しました。11月20日には、南スーダンの国連平和維持活動として、新任務「駆け付け警護」が付与された日本の陸上自衛隊の先発隊約130人が現地に向かって出発しました。11月22日には、福島県沖を震源とする東日本大震災の余震とみられる地震があり、仙台で140cmなど大震災以降最大の津波が観測されました。大震災後に福島から神奈川県に自主避難し、転校直後からいじめを受けて不登校になっていた生徒の手記が、生徒側代理人の弁護士によって公表された後のことでした。そして、11月24日には、東京都で1962年以来54年ぶりの降雪があり、1875年(明治8年)以来の観測史上初めての積雪となりました。このように直近の1ヶ月間だけ見ても、自然の脅威や人災による長期的な被害、大人社会の軋轢や子ども社会の闇などが相互に影響し合っており、私たちのメンタルヘルスを蝕もうとしていることは明らかです。

そのような中、早川理事長のリーダーシップのもと初の「メンタルヘルス関連三学会合同大会」が企画され、馬淵実行委員長のもとに準備が進められて参りました。大会テーマ「21世紀のリアル」は、たしか三学会の実行委員がはじめて顔合わせをした会の議論の中で、日本精神衛生学会の牛島定信会長の発案によって決定しました。

当学会では、「生活支援」「死生観」をテーマにした2つのシンポジウムを企画しました。また、熊本地震支援を巡るメンタルクライシス・レスポンスチーム(MCRT)の活動報告会にも是非、ご参集ください。どなたにも無料でご参加いただける公開シンポジウム「生きることに困難を抱える若者たちをどう支援するか」も開催します。そのほか合同企画として、「発達障害」「オープンダイアログ」のシンポジウムや、不登校への家族療法的アプローチの特別講演など見どころ満載です。さらに国際比較をテーマにしたシンポジウムやアジアの院生による研究発表など、他学会の国際性には刺激を受けます。一般演題にも、力がこもっています。

会場のある一ツ橋の地名は、もともと日本橋川と小石川(現在の白山通り)が合流して「ひとつ」になる地点に架かる一橋に由来しているそうです。三学会が合流する瞬間に、そして 21 世紀を生き抜くための叡智が産みだされる瞬間に、是非、あなたも参加してください。東京の神保町駅または竹橋駅(皇居沿い)近くの一橋講堂にて、お待ちしております。



メンタルヘルス関連三学会

合同大会ホームページ

<http://www.sysconet.jp/mh3/>

大会詳細はホームページをご覧ください